

Trias 企業メモ 2010-10-29

(3377 東証 2 部)株式会社アイケイコーポレーション  
2010 年 8 月期 通期決算説明会サマリ

2010 年 10 月 15 日、株式会社アイケイコーポレーション(以下、IK コーポレーション)の 2010 年 8 月期(2009 年 9 月-2010 年 8 月)の決算説明会が開催されましたので、概要をご案内いたします。

説明会出席者： 取締役会長 石川秋彦氏、代表取締役社長 加藤義博氏、取締役副社長 大谷真樹氏、  
取締役 山縣俊氏、経理財務グループ マネージャー 竹内 和也氏、  
経営企画グループ マネージャー 西元 裕肇氏

加藤社長による決算説明の概要は以下の通りです。

**【2010 年 8 月期 連結決算概要】**

2010 年 8 月期(2009 年 9 月-2010 年 8 月)の連結売上高は、前年同期比 2.9%増の 241 億円、営業利益は同 9.6%増の 708 百万円となり、増収増益を確保したものの、売上原価の上昇に伴い、営業利益ベースでは会社計画を 30.3%下回る結果となった。

**<買取販売>**

当社の主要販売先である中古二輪車オークション市場では、2008 年 10 月以降、世界的な不況と円高により、輸出業者を中心に買い控えが続き、単価も大幅に下落していた。2009 年 12 月から 2010 年 2 月までは単価が上昇し、一時持ち直しの兆しが見られたものの、その後下落に転じ、今年 7 月、8 月と再び前年実績を下回った。また二輪車オークション市場での出品台数・成約台数についても、2008 年までは堅調に推移してきたが、リーマンショック後の経済情勢を受け、2009 年は出品台数がほぼ前年並み、成約台数は若干の減少となった。

第 4 四半期(2010 年 6 月～8 月)は、オークション相場が 7、8 月と再び前年割れをするなど、想定を下回ったため、当社の平均売上単価も当初計画を下回って推移した。また平均粗利額についても、粗利額確保の施策効果があったものの、平均売上単価未達により、当初計画を下回った。販売台数についても、当初計画を若干下回った。計画未達の要因としては、上期(2010 年 9 月～2011 年 2 月)はお申込件数が堅調に推移したが、第 3 四半期(2010 年 3 月～5 月)以降、WEB 媒体等の広告効果に減衰がみられ、第 4 四半期(2010 年 6 月～8 月)のお申込み件数が当初計画を下回ったことが大きい。

結果、通期での販売台数は前年同期比 9.1%増となり、計画通りに推移したものの、平均売上単価は前年同期比 8.4%減の 127,857 円、平均粗利額は前年同期比 8.0%減の 68,739 円となり、当初計画を下回った。また、買取成約率は通期で 83.9%と、前年実績をやや下回ったが、四半期毎の推移を見ると改善傾向が窺える。なお、当初計画どおり、「バイク王」店舗の単独出店は行わず、100 店舗体制を維持。1 店舗当たりの生産性向上により、販売台数の増加に対応した。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

### <小売販売>

オートバイ・ユーザー向け小売販売台数は、キャンペーン施策を強化した結果、前年比で増加したが、計画は下回った。平均売上単価、平均粗利額は、概ね予想通りに推移した。

### <駐車場・パーク王>

第2四半期から第3四半期にかけて大型事業地の閉鎖があったため、売上高、売上総利益は予想を下回った。営業利益についても、販管費を抑制し利益の確保を図ったが、売上高未達の影響により、予想に届かなかった。また、助成金の申請に伴い、売上原価を一括計上したことから、営業利益で約6百万円のマイナス、経常利益で約7百万円のプラスが生じている。この結果、予想を下回ったものの、初の黒字を確保した。

### 【2010年9月から2011年8月の業績見通し】

オートバイ流通市場の季節変動要因が与える、当社業績下期偏重の影響を是正するため、次期より決算月を8月から11月に変更する。このため、次期は2010年9月から2010年11月の変則決算となる。なお、業績予想については、9月以降12ヶ月予想を開示する。

決算期変更に加え、事業セグメント区分を変更する。この変更により、従来、買取販売事業に含まれていたパーツ販売を、小売販売事業に移行する。新セグメント区分による2010年9月-2011年8月の12ヶ月における業績予想は以下の通り：

【表1】通期累計決算概要と2010年9月～2011年8月の予想

(百万円)	FY8/10 通期 実績	2011年8月 までの12ヶ月 予想	前年 同期比
買取販売			
売上高	21,968	21,411	-2.5%
売上総利益	11,765	11,916	1.3%
営業利益	661	349	-47.1%
経常利益	647	347	-46.3%
小売販売			
売上高	2,852	3,125	9.6%
売上総利益	1,026	1,094	6.6%
営業利益	45	57	26.6%
経常利益	70	83	18.6%
駐車場(パーク王)			
売上高	497	648	30.2%
売上総利益	70	90	29.3%
営業利益	△2	6	—
経常利益	14	11	-19.4%
連結			
売上高	24,176	23,857	-1.3%
売上総利益	12,862	13,101	1.9%
営業利益	708	418	-41.0%
経常利益	732	442	-39.5%
当期純利益	312	142	-54.5%

注1) 予想は2010年10月発表の会社予想

注2) 決算期変更に伴い、次期は2010年9月～2010年11月の変則決算。

このため、2010年12月～2011年8月までの9ヶ月分を加味した予想値を発表。

注3) FY8/10通期実績は、セグメント変更を加味した数値。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

**【表2】買取販売事業の経営指標(前期実績と2010年9月～2011年8月の予想)**

	2010年8月期		2011年8月までの12ヶ月予想	
	通期	前年同期比	通期	前年同期比
広告宣伝費(百万円)	3,668	-	3,867	5.4%
買取成約率(%)	83.9%	-1.3%	86.0%	2.5%
販売台数(台)	170,130	9.1%	170,200	0.0%
平均売上単価(円)	127,857	-8.4%	124,800	-2.4%
平均粗利額(円)	68,739	-8.0%	69,100	0.5%

注1) 予想は2010年10月発表の会社予想。

注2) 決算期変更に伴い、次期は2010年9月～2010年11月の変則決算。

このため、2010年12月～2011年8月までの9ヶ月分を加味した予想値を発表。

注3) FY8/10通期実績は、広告宣伝費のみ新セグメントに組み替えた数字。

2010年9月から2011年8月までの12ヶ月予想における減収減益の理由は、主力の買取販売事業での直近のお申込件数の状況を踏まえ、販売台数はほぼ横ばいと予想する一方、オークション市場に残る不透明感を加味し、平均売上単価は前年を下回る推移を見込んでいることによる。配送費等のコストダウンを継続するものの、広告宣伝費及び人件費については増加を見込む。

配当については、2010年9-11月期についても、2010年8月期の年間1,200円の継続を前提に、3か月分に相当する300円を予定。また、2010年10月14日から、2011年2月21日にかけて、8,000株(発行済株式数の5.48%)の自社株式取得を行う。

### 【質疑応答】

**Q1. 販売台数を横ばいと見込む背景は何か。市場環境の変化に起因するものか、或いは会社の成長力の鈍化等経営上の要因か。**

A1. 新車販売台数は減少してきているが、新車の取扱いはないので影響はさほどない。今後、高年式の車(※製造年の数字が大きい車輛＝新しい車輛)が出にくくなるという意味で価格に影響するとも言えるが、中古流通市場が縮小しているわけではない。ただし、当社のこれまでの手法だけでは成長が鈍化するかもしれないので、広告戦略の改善をはじめ、新たな改善策を実施していく。

**Q2. 7-8月の平均単価下落について、例年のこの時期は単価が高いが、今年は横ばいだったという見方もできると思うが、単価動向をどのように要因分析しているか。**

A2. 最近の円高により、海外の輸出業者がオークション市場で買い控えている。円高修正はすぐには起こらないと考えており、今後とも低水準な単価傾向が続くと考えている。新車があまり売れていないため、高年式の車はあまり出てきていないが、125cc以上の保有台数は減っていない。ライダーの乗換えは中古にシフトしていると思われ、新車の販売店は値引きでしのいでいると聞いている。そういう意味では、単価動向がすぐ改善するとは見ていない。

**Q3. 広告効果の改善策を具体的に。**

A3. 紙媒体による広告効果の減衰については、下げ止まり感がない。新聞広告を見た顧客にプリペイドカードを配るなどのキャンペーンを行っている。WEBについては、サイトをクリックしたユーザーの地域や好み、

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

何を見ているかなどの分析を細かく行っている。また、「バイク王」というワードで流入してくるユーザーが多いことから、SEO 対策を強化している。

**Q4. 需要そのものに限界がきているのではないか。市場の拡大は見込めるのか。オークションの参加者は買取業者が多いと思うが、最終需要先も含めて、どのように考えているか。**

A4. ライダー数は減っていない。排気量別で見ると、50cc 以下の国内保有台数は減少傾向にあるが、51cc 以上は伸びている。当社の売上高に対する50cc以下の割合は10%未満。主な対象としては、国内50数万台+海外20数万台=70万数台の125cc以上のライダーを想定している。うち、当社の買取台数はまだ10万台強で、市場のパイはあると考えている。顧客は買い替え層と手放し層に分けられるが、当社は後者の取扱いが90%で、前者の獲得を目指し、施策を模索中。マクロ的には、メーカーの新車価格は排ガス規制等から上昇傾向にあるが、高品質の国内産パーツから海外の安いパーツへ切り替え、新車コストを下げ、販売量を増やそうとする動きや、モデル数を増やすなど、各社、拡販のための施策を打ち出している。またライダー層も、年配や女性に広がっている。このあたりは需要があるのではないか。■

#### 【ご参考】(3377)株式会社アイケイコーポレーション

##### 連結主要指標と業績の推移

連結主要データ		
発行済み株式数(株)	2010.8月	152,856
うち自己株式数(株)	2010.8月	7,000
時価総額(百万円)	2010.10.28	3,507
一株当純資産(円)	2010.8月	31,386.0
ROE(%)	2010.8月	5.4
ROA(%)	2010.8月	4.0
PER(倍)	2011.8月予	-
PCFR(倍)	2010.8月	5.8
PBR(倍)	2010.8月	0.7
株価(円)	2010.10.28	22,940
単元株数(株)	2010.10.28	1
日々平均出来高(株)	2010.10.28	130

連結主要データ		
総資産(百万円)	2010.8月	6,402
自己資本(百万円)	2010.8月	4,647
有利子負債(百万円)	2010.8月	238
自己資本比率(%)	2010.8月	71.5
有利子負債比率(%)	2010.8月	5.1
フリーキャッシュフロー(百万円)	2010.8月	366

注: ROE=当期純利益÷期首と期末の自己資本の平均  
 ROA=当期純利益÷期首と期末の総資産の平均  
 PCFR=時価総額/(当期純利益+減価償却費)  
 日々平均出来高=過去1年間の平均  
 有利子負債比率=有利子負債÷自己資本  
 フリーキャッシュフロー(FCF)=営業CF+投資CF

連結(百万円)	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配(円)
2007年8月期	20,379	1,574	1,604	740	4,859.27	300.00
2008年8月期	24,588	1,864	1,904	847	5,555.13	800.00
2009年8月期	23,502	646	671	251	1,643.75	1,200.00
2010年8月期	24,176	708	732	312	2,123.24	1,200.00
予2010年9月~2011年8月	23,857	418	442	142	-	1,200.00

注1) 予想は2010年10月13日発表の会社予想

注2) 決算期変更に伴い、次期は2010年9月~2010年11月の変則決算

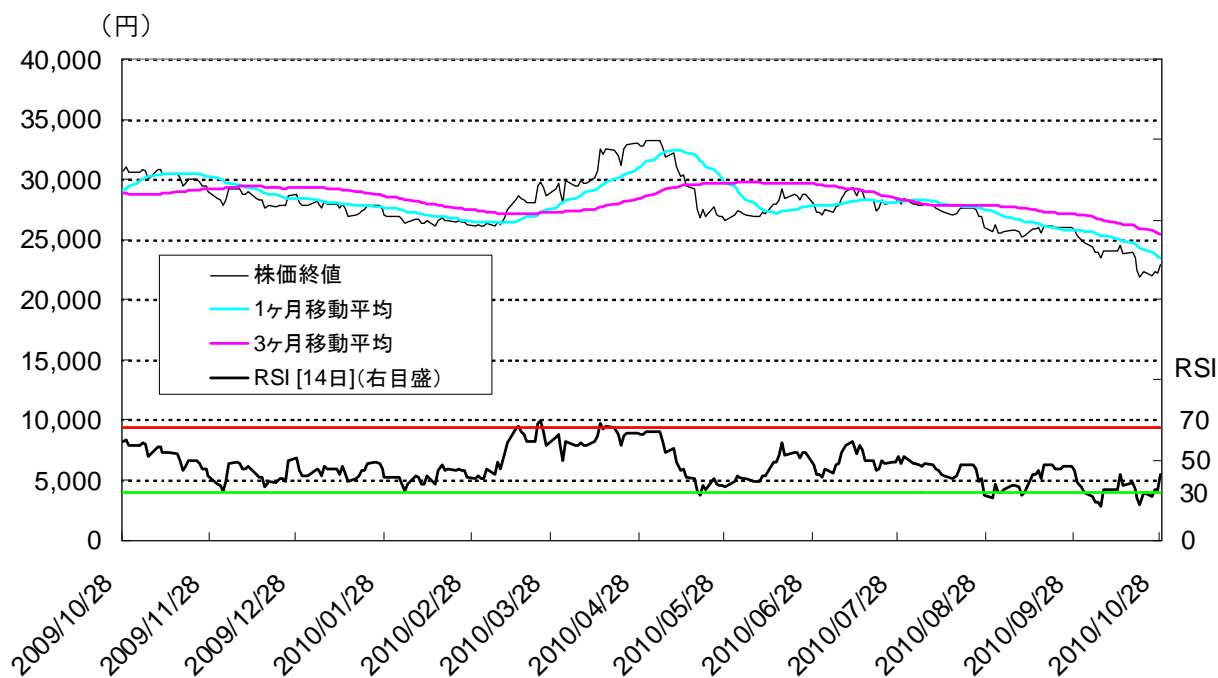
加えて、2010年12月~2011年8月までの9ヶ月分を加味した予想値を発表

上記予想数値は、2010年11月期の3ヶ月、ならびに同時発表の9ヶ月分を足したもの

注3) 2010年11月期の1株配は、2010年8月期1株配1,200円の配当の継続を前提に3ヶ月分にあたる300円を

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

## 株価チャートとRSI



出所: BloombergのデータをもとにTrias作成

注: RSI (Relative Strength Index)とは株価の「買われ過ぎ」や「売られ過ぎ」を指数で表したものである。一般的にRSIが70を超えると高値圏、30以下では安値圏に位置していると言われている。  

$$RSI = \frac{N \text{日間の値上がり幅平均}}{N \text{日間の値上がり幅平均} + N \text{日間の値下がり幅平均}} \times 100$$

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。